

会議顛末書（要旨）

								記録者	蛭原 皓貴							
供覧	会長			部長			課長			補佐			G L			G 員
件 名		令和4年度 第3回龍ヶ崎市地域公共交通協議会														
年 月 日		令和4年11月22日（火）														
時 間		午前10時00分から午前11時30分														
場 所		龍ヶ崎市役所 附属棟1階 第1会議室														
出 席 者		<p>【出席】 18人（随行1名） 國下委員，寺田委員（代理：富山氏），蛭町委員（代理：鈴木氏）， 澤島委員，池田委員，北村委員（代理：堀江氏）， 武藤委員（代理：白鳥氏），中島委員，野澤委員，小菅委員， 板谷委員，上野委員，小幡委員，吉野委員，落合委員， 佐藤（昌）委員，佐藤（真）委員</p> <p>【欠席】 1名</p> <p>【事務局】 都市計画課 仲村課長，寺田副参事兼課長補佐，北島課長補佐， 平沢課長補佐，大野副主幹，記録者 ランドブレイン株式会社 太田氏</p> <p>【傍聴】 1人</p>														
会議内容 【会議次第】		1. 開会 2. 議事 3. その他 4. 閉会														
内 容 (主な意見)		<p>※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。</p> <p>【事務局】 1 開会 ○会議資料等の確認。 ○新委員の紹介。 ○定数の過半数出席により，本会議が成立した旨を報告。（龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例第6条第2項） ○本日の議事録署名人は，市民公募の上野委員と平成観光自動車株式会社の中島委員を指名。</p>														

2 議事

【板谷会長】

会議次第に従い議事の進行をしてまいります。よろしくお願いいたします。

議事（１）『「龍ヶ崎市地域公共交通計画」策定スケジュールの変更について』及び議事（２）『「龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画」の変更について』については関連がございますので、一括しての協議とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。

（１）「龍ヶ崎市地域公共交通計画」策定スケジュールの変更について

（２）「龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画」の変更について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見等がございましたら、挙手のうえご発言ください。

確認としまして、変更の内容としては、計画期間を3ヶ月間延長するということですが、目標値についても一部変更しているということですので、このあたりについて詳しく説明をお願いいたします。

【事務局】

新旧対照表のとおり、地域公共交通の利用者数について、目標値を若干増加させています。関東鉄道竜ヶ崎線の利用者数を866,000人、乗合タクシーの利用者を2,600人と、実績値を踏まえて目標値を変更していますが、他の目標値は前回の変更時に年度末までを想定した数値としておりましたので、変更はありません。

【板谷会長】

新型コロナウイルス感染症の影響で一時利用者が減少したところ、現状が少しずつ良くなってきているということで、そういった点を目標値に反映しているということです。

計画について、あまり変更を加えるのはよくない、という意見もあるかもしれませんが、少し前向きに修正することで、より多くの方に乗っていただきたいという姿勢の表れだと思います。私の方では、問題はないと思います。

特に意見がなければ、資料のとおり承認するというところでよろしいでしょうか。

～異議なし～

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事（１）及び議事（２）につきましては、資料のとおり承認といたします。

続きまして、議事（３）『龍ヶ崎市地域公共交通計画（案）について』事務局から説明をお願いします。

（３）龍ヶ崎市地域公共交通計画（案）について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問ご意見等があれば、挙手のうえご発言ください。

【上野委員】

P43で、市内の公共交通空白地域0%となっていますが、その定義として、バス停からどのくらいをカバーされているのか教えていただきたいと思います。

また、P56の新たな運賃割引制度について、何か検討されているのでしょうか。免許返納等でコミュニティバスを使わざるを得ない人が増えてくると思いますが、毎日乗るといふ人は少ないと思います。そのため、利用促進の面からいくと、回数券の割引率を免許返納とか、一定の所得以下の人などを考慮する方が利用者の向上にはいいのではないかと思います。

【事務局】

まず、公共交通空白地域についてですが、資料P6に、現在の公共交通の運行状況を示しておりますのでご覧ください。龍ヶ崎市内をきめ細かく運行しておりますが、これだけでは全てのエリアをカバーできていない状況となっています。これらの状況を改善するため、乗合タクシーを運行して、市民の方が公共交通結節点に移動するための手段を確保しています。そういうことから、市内の公共交通空白地域は0%という整理をしています。

次に、新たな運賃割引制度の検討についてです。詳細は今後協議会で協議させていただきたいと考えておりますが、現在、市の方に多く寄せられている意見としましては、大人用の1日乗車券だけでなく、子供用の1日乗車券が欲しいというような意見を多くいただいております。このような要望の内容等を踏まえて、今後の協議会の中で、具体的な内容について協議していければと考えております。

最後に、回数券の割引率についてです。現在、コミュニティバスでは、「おたっしゃパス」を1ヶ月3,000円から販売しています。通常1乗車200円、往復で400円ですので、1ヶ月で8日以上利用される方については「おたっしゃパス」を購入していただければと考えており、さらに3ヶ月、6ヶ月と長くなれば割引率も高くなっています。

高齢者の方については、利用頻度が高い方については「おたっしゅパス」、利用が少ない方は回数券の利用を想定しています。回数券の枚数等については、10回分の料金で11枚がスタンダードな形であると考えておりますので、引き続き、この内容で継続させていただきたいと考えております。

【板谷会長】

割引制度については、今後も検討の余地はあると思います。資料に乗っているのは、現状の割引制度についての説明になっているということです。

回数券については、現状では特に変える予定はないということですが、当然変更の可能性が全くないということではありません。1日乗車券等についても今後検討していくこととなりますので、その際にはいろいろとご意見をいただければと思います。

【國下委員】

最後の評価について確認したいことがあります。PDCAサイクルで、毎年度事業を評価し、見直すことになっていますが、コミュニティバスや乗合タクシーについては収支も出されて評価するということですか。

【事務局】

PDCAで評価していくことについては、別紙資料4のP40にあるように、評価スケジュールとして毎年評価することを想定します。

【上野委員】

P40の公共交通利用者数の目標値として、1,186,000人とありますが、少子高齢化の関係で、学生の利用は見込めないのが、市民の流動をどれだけ確保するのかが問題になると思います。その辺をどういう方向で考えるのかについての説明をいただきたいと思います。

もう1点は、P62「自転車との連携」ということで、設備の整備やサイクリングロードの運行だけでなく、利用するコンテンツを作らないと利用が増えないのではないかと思います。たとえば、土浦市ではサイクリングロードの設備を行っているように、自転車を活用するような取組も進めていく必要があると思いますが、どう考えているのでしょうか。

【事務局】

数値目標1-1について、利用者の増加に向けて、従来どおり、コミュニティバスの運行を続けるということと、現在バス等を利用されていない人の需要を掘り起こしていくという側面からバスの乗り方教室の実施など利用促進策を図っていきたいと考えております。また、利用者数については、今後人口は減少していく可能性は高いと思いますが、高齢者数は少しずつ増えていくというところで、公共交通利用

数は必ずしも減少するわけではないと考えておりますので、利用促進を続けていきたいと考えております。

続いて、自転車利用に関してですが、レンタサイクルやサイクルトレインについては、関東鉄道の方で実施しております。先程委員の方が言われた取組みについては、スポーツ関連の意味合いが強いと思います。

関東鉄道のレンタサイクル等の実施状況を把握していれば、教えていただけないでしょうか。

【北村委員代理：堀江氏】

利用の状況については、把握はできていません。あまり多くないと報告は受けています。平日よりは休日数名という感じのようです。

【事務局】

市の方でも、周知等に関わっていき、利用者の増加を図っていきたいと思います。

【上野委員】

何か仕掛けをしないと、利用者の増加につなげていくのは難しいので、その辺も含めて、手法を考えていった方がいいのではと思います。

【事務局】

自転車の関連で、土浦市のように観光・スポーツという視点もあると思います。そういう中で、事業を立ち上げていくということもあると思います。周辺市町村と利根川のサイクルロードの検討が始まるころです。

都市計画課では、自転車の計画についても所管となっておりますので、今後、自転車利用推進計画の検討も進めていかなければいけないと考えていますので、委員の方の力添えをいただければと思っております。

【板谷会長】

自転車の件については、この協議会だけでは解決できません。走行空間、駐輪場を含めて総合的に都市計画でやっていかなければいけないところがあります。

レンタサイクルに関して、最近は短時間で、人がいない所にある機械式で借りて30分利用して返す都市型サイクルもあります。そういったシステムの導入も含めて、自転車の利便性を高めるために色々検討する余地はあると思います。そういうことを含めてやっていけるような書きぶりにこの計画はなっていると思います。今後検討を進めていただければと思います。

P40の目標値について、自分も高いと思っております。これまで自動車を利用されていた人が公共交通利用するにはハードルが高いのが現状だと思います。

この計画は、色々なことを網羅しており、何にでも対応できるようになっており、いい作りになっています。今後、いい提案が出てきた時に、この協議会で協議できる体制になっていますので、今後委員の方からもご提案いただければと思います。

モビリティマネジメントについては、もう少し掘り下げてやっていくべきだと思います。学校教育もそうですが、高齢者の中で、これまで自動車を利用されていた方に対して、公共交通を利用してもらう機会がないか意識してもらうことも大事です。モビリティマネジメントは、これだけでなく、転入者の方に市の窓口でバスマップを配布する、企業にノーマイカーをお願いするなど、まだいろいろやり方がありますので、協議しながら積極的に進めていけば、大分違うと思います。

市外からの人に対する公共交通の案内については、さらに精度を高めていくべきだと思っています。計画に盛り込まれているのでいいと思っていますが、鉄道・バス・タクシーなどから好きなものを選択して目的地まで行けるような、共創していくような環境ができるかと思っています。特にバスに関しては、どこに何があるのかわかりづらいと自分は思っていますので、そのあたりは早急に改善していくといいのではと思います。

コミバスは来年度見直すことになっていますので、利用される路線・利用されない路線、時間帯も含めて改善する点が出てきています。協議会で議論しながら、より良いネットワークを構築していけるようにしていただければと思います。

特に意見がなければ、議事（3）については、承認でよろしいでしょうか。

～異議なし

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事（3）につきまして、資料のとおり承認といたします。

続きまして、議事（4）『「A I オンデマンド交通」の検討状況について』事務局から説明よろしくをお願いします。

（4）「A I オンデマンド交通」の検討状況について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問ご意見等があれば、挙手のうえご発言ください。

【吉野委員】

東大のコンビニクルが色々な所で導入されており、その成功事例を

参考にされているのでしょうか。

成功事例として滋賀県米原市が出ていました。旧米原町と山東町が合併した田舎の地域で、とくに山東町は伊吹山の麓で過疎地域です。料金が 500 円から始まって 500 円ずつ上がっていき、下手をすれば 1,500 円、2,000 円となっています。先程、300 円ということでしたが、こういう事例が取りすぎなのか、龍ヶ崎市が安く抑えているのか、コスト面が不安です。

【事務局】

A I オンデマンド交通は、複数の会社がシステムを提供しており、この 1 社で決めるというわけにはいかないの、色々な事業者から話を聞きながら、どういったシステムが、龍ヶ崎市に相応しいのか検討しております。その中で、合致した事業者と最終的に契約することを想定しております。コンビニクルにないかは定かではありませんが、基本的な仕様は、どこの事業者も一緒です。

運行経費については、システム事業者、運行事業への委託費があるわけですが、システムを提供している事業者によって金額差があります。一からシステムを構築する事業者は当然費用も大きくなっていくと思います。ある程度汎用性のあるシステムを構築し、多くの市町村に提供している事業者は、比較的成本を抑えてできると思います。

今後、市の方で契約するにあたり、コスト面等も勘案しながら進めていきたいと考えております。

【事務局】

補足説明として、基本運賃についても質問をいただいたと思います。視察を行った都市をみると、他市では 200～400 円が多くなっており、一番多いのが 300 円でした。当市としては、コミバスが 200 円、乗合タクシー 500 円となっており、その間の利便性になると想定して 300 円を考えております。

【板谷会長】

A I オンデマンドは、色々な会社が参入して行っています。うまくいかなかった場合、初期投資が無駄になってしまうことを考えると、慎重にやらないといけないと思います。実際そういうことで苦労している自治体もあります。

検討の経緯などその他、継続的に協議会の方に報告いただければと思います。

【寺田委員代理：山浦氏】

資料の P5 に、今回 A I オンデマンド交通を導入する理屈としては、「既存公共交通との代替可能性」を検証するという、コミュニティバスや乗合タクシーとの比較を検証していくということになっていますが、その下の実証エリアの設定として、既存公共交通への影響が少ないエリアとなっています。そうすると、既存交通への影

響が少ないエリアにすると、既存交通との比較ができないでと思いますが、そのあたりはどう考えているのでしょうか。

【事務局】

P5 と P6 で同じ「既存交通」という表記をしているために、誤解を招くことになってしまったかと思います。P5 の既存公共交通は、コミュニティバス・乗合タクシーのことで、市が運行委託しているシステムを想定しています。P6 のエリア設定の既存交通は、民間の路線バスへの影響が少ないということを想定しております。

誤解を招く結果となってしまう、申し訳ありません。

【國下委員】

A I オンデマンドについて、支局の輸送担当者とは詳細な打合せにいられていないと聞いています。次回 1 月に会議が開催されますが、1 月までに当局の輸送担当に相談するようにお願いします。

【板谷会長】

重要なことだと思います。

今回、説明いただいた内容で、大卒なところはこれで行きたいということだと思います。次回の会議で、どこまで決定していくかについてももう少し説明をお願いしたいと思います。

【事務局】

資料 P7 の事業概要として、現在市が考えているのは、運行時間、車両台数、運賃、検討中の乗降場所の数、場所などを示せばと考えております。

【板谷会長】

かなり具体性を増した形で、もう一度提示してもらえるとということですね。陸運局との相談もまだされていないようですし、また市内にあるタクシー、路線バスの既存事業者との事前すり合わせもかなり重要なことだと思いますので、あとから問題が起きないように調整することをお願いします。

【佐藤（昌）委員】

中長期的な話で、コロナ第 7 波、8 波と言われている中で、目標値をとってコロナ前にとというのも 1 案ではありますが、施策については社会的にもコロナ前に戻すというよりは、コロナ化でどう対応していくのが重要ではないかと思います。

そういう意味では、カーボンニュートラルという考えも出てきていますので、事業の中にも、自転車との連携、E V バスの導入検討、A I 交通などもありますので、コロナ化を踏まえた事業を重点的に進めていき、市民の要望に応えていくべきではないかと思います。

【板谷会長】

コロナ前に戻したいと目標を設定することは、市として、こういう事業に前向きに取り組むことについてはいいことだと思っております。

詳細なところについては、日々状況が変わっていますので、それに対して機敏に動いていく必要があると思います。おっしゃっていただいたことを含め、幅広く施策を活用しながら、カーボンニュートラルも非常に大事ですが、なかなか日本では根付いていませんので、龍ヶ崎市発のことができればと思っています。そういうことも含めて、計画の内容を実現していけるような施策を来年度、次回以降取り組んでいただきたいと思います。

他に質問がないということで、議事（４）についての協議は終了としたいと思います。これについては次回、より詳細な内容を定めて提案していただけるということなのでよろしくお願いします。

本日の議事事項は、以上となります。今回いただいた貴重な意見を踏まえながら、事業を進めていきたいと思っておりますので、委員の方においても、引き続きご協力お願い申し上げます。

最後に、その他の事項として、事務局から説明よろしく申し上げます。

【事務局】

○スライドに基づき説明

- ・ 2代目まいりゅう号の運行終了について
- ・ 駅長対抗いばらきの魅力総選挙について
- ・ 龍ヶ崎M a a S推進協議会の取組みについて（関東鉄道説明）

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。

その他、委員の方から何かありましたら、ご発言お願いします。特になければ、本日の会議を閉会します。

4. 閉会

令和4年 月 日 議事録署名人

令和4年 月 日 議事録署名人